

雄和小学校の統合までの経緯と統合後の様子について

1 開校までの経緯について

(1) 平成23年度～平成25年度（開校準備委員会設置まで）

平成23年 2月	雄和地域審議会からの要望書
平成23年12月	雄和地域の小学校のあり方を考える会を設置
平成24年 2月	種平、戸米川、川添、大正寺の各小学校PTAとの意見交換会を実施
平成24年 7月	雄和地域の小学校のあり方に関する基本方針(案)を策定 ※雄和地域の4校について、平成28年4月1日を目途にできるだけ早い時期に統合し、統合校は改築中の雄和中学校に併設する形で新設するという内容。
平成24年 9月～	4小学校PTAおよび地域への説明会
平成25年 2月	雄和地域審議会からの提言
平成25年 5月	4小学校PTAおよび地域からの合意書提出

(2) 平成25年度～平成27年度（開校準備委員会設置以降）

平成25年 8月	雄和地域新設小学校開校準備委員会を設置
平成25年 8月 ～ 平成26年 3月	平成25年度 開校準備委員会（全5回） （施設整備、グラウンド、体育館、スクールバス運行、児童館等について）
平成26年 5月 ～ 平成27年 3月	平成26年度 開校準備委員会（全6回） （スポ少の活動、校舎設計プラン、校名の公募実施、校歌、校章等について）
平成27年 5月 ～ 平成28年 3月	平成27年度 開校準備委員会（全6回） （閉校記念式典の実施、体育着、廃校舎の利活用等について）

(3) 平成27年度（閉校式）

平成27年11月	4小学校の閉校記念式典・140周年行事
----------	---------------------

(4) 平成28年度（開校式）

平成28年 4月 6日	雄和小学校開校式
-------------	----------

2 雄和小学校の統合後の様子について

(1) 児童について

- ・統合前に4小学校合同交流会等に参加した経験から、統合後には、すぐに友達の輪が広がり、大勢で学習することに楽しさを感じている様子が見られる。
- ・多くの友達との出会いを通じて、楽しさの中にも競争意識が芽生えており、子どもたちが切磋琢磨できる場面が多く見られる。
- ・大きな集団での生活に不安を感じていた児童もいたが、統合前の学校から継続して教員を配置するなど、児童の気持ちに配慮したケアに努めたところ、生き生きと学校生活を送っている。
- ・統合当初は、登下校の距離や時間が長くなり、朝あまり元気がない子どもが多くいたが、一定の時間の経過とともに徐々に慣れてきた。

(2) 保護者について

- ・統合前には、子どもたちが大きな集団での学校生活にうまく対応できるのか心配の声もあったが、新しい生活に慣れてくると、自宅でも学校の様子を楽しそうに話す子どもの姿が見られた。
- ・統合により、保護者も増えたことから、PTA活動への負担の緩和とともに、幅広い活動ができるようになった。
- ・通学時間が長くなったことにより、朝や放課後の時間的な余裕がない状況であった。

(3) 地域について

- ・地域コミュニティの核となっている学校がなくなることによる不安の声があったが、学校と地域住民が合同で学習活動を行うなど、子どもたちの成長を地域で温かく見守ることができる貴重な学校となっている。
- ・学校統合により、地域の伝統文化が廃れないよう雄和小学校として、総合学習に大正寺おけさまつりを取り入れるなど、地域とのつながりを大事にししながら、伝統文化の保存や継承に努めている。
- ・地域から学校がなくなること自体がデメリットであり、以前は、運動会や学習発表会などの学校行事があれば、身内に子どもがいなくなっても学校に行っていたが、近くに学校がなくなったら、行かなくなり、疎遠感を感じた。

(4) その他

- ・統合前の小学校では、スポーツ少年団の選択肢が少ない状況であったが、統合により規模が大きくなると、新たにスポーツ少年団が創設されたり、練習試合が増えるなど、学校内外で子どもたちの活動が活発になっている。
- ・4つの旧小学校区ごとにあった地区体育協会では、統合の1年前からそれぞれ協議を始め、開校にあわせて、一つにまとめ、現在も活発に活動している。
- ・当初、地域や保護者は、統合に不安を感じていたが、統合してみればすぐに慣れている。